



広報

住んでみたい村 住んでよかった村の実現

どうし



道志の夜空に煌めく

大輪の花

9/16 水源の郷道志
清流の花火大会にて

道志村村民憲章

私たちの七里は、緑と清流と歴史の郷です。
この地に生きること誇りをもち、平和な村
を築くため、ここに憲章を定めます。

私たちは、

- 一、自然を愛し、平和な村をつくります。
- 一、生産に励み豊かな村をつくります。
- 一、伝統を重んじ、教養を高め、文化の村をつくります。
- 一、人情といたわりの心を養い、福祉の村をつくります。
- 一、明るく健康で、活力ある村をつくります。

主な目次

- P 2 第3回水源の郷道志清流の花火大会
- P 4 道志みちサイクルサポートステーション
- P 6 防災特集



開催会場

第3回 水源の郷道志

「清流の花火大会」

が開催されました！



水源の郷道志「清流の花火大会」は、関係各位の熱意とご支援により今回で第3回目を迎えることができました。今年は、9月15日（土）の天気予報が思わしくなかったために翌日の16日（日）に順延されましたが、心配をよそに会場には、昨年よりも多くの住民の皆様やキャンプなどで道志村を訪れている観光客の皆様で賑わい、清流道志川の夜空に輝く4号玉をメインとした2,040発の打上花火を鑑賞し、美しい渓谷と花火のシンフォニーを感じていただくことができました。

また今回から、道の駅の建物前に移動した水源の郷屋台村コーナーでは、地元の食材を使った飲食ブースが並び、どのお店も沢山のお客様で大盛況でした。

この花火大会は、住民の皆様やご来訪いただいております観光客の皆様が、清流道志川でのひと時を楽しんでいただくとともに、村の活性化と観光振興を図ることを目的に開催しております。今後も本大会が継続できるようご支援・ご協力くださいますようお願いいたします。



この花火大会を開催するにあたり、村内外より多くの企業様にご協賛いただきました。
誠にありがとうございました。

アイトー電子(株)、大蔵電気(株)、長田電材工業(株)、加藤電器製作所、川上建設(株)、クリエイティブタイカスト(株)、(有)相模原畜産、都留信用組合、(株)どうし、道志村商工会、富士マイクロデバイス(株)、(有)池谷オートサービス、(有)岩下産業、(株)OMT、長田産業(株)、(株)桔梗屋、(有)坂本建設、(株)佐藤工業所、佐藤設計企画室、(有)佐藤設備、山英建設(株)、(有)サンテック、(有)七里緑化、志村工業(株)、都留道志会、(株)道志化学工業所、(有)平賀興業、富士新幸(株)、(福)平成福祉会、道志茶屋、水越化成工業(有)、山梨県民信用組合、渡建工業(株)、(有)渡辺工務所

(株)甲府情報システム、三和エンジニアリング(株)、(株)SORIN、(株)ナイトー建商、(株)ヤマフジ、(株)横浜ビル、和田工業

(有)池谷製作所、久保キャンプ場、佐藤石油店、(株)佐藤建築、佐藤モーターズ、(有)スギモトデンキ、武田食品(株)、(有)団設計、(株)地域設計、デフTV電工、出羽モーターズ、ドライブイン道志宿、(株)保延商会、HOROHORO、横浜市水道局水源林管理所、(株)リプルコンサルタント

敬称略 アイウエオ順

協力団体

道志村建設業協会、道志村漁業協同組合、大月交通安全協会道志支部、道志村消防団第4分団、都留市消防署道志出張所、大月警察署道志駐在所、道志村青年団

本大会の開催にあたりましては、多くの関係者の皆様にご理解とご協力いただきましたことに厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

水源の郷道志清流の花火大会実行委員会

会長 水越 茂広



「道志みちサイクルサポートステーション」 の協力事業者を募集します

近年、サイクリングの人気の高まり、全国各地に「サイクルサポートステーション」、「サイクルピット」または「バイサイクルピット」などの愛称でサイクリストの休憩や自転車のメンテナンスに利用することができる施設が数多く設置されています。

8月9日、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における自転車競技ロードレースが、本村を通過するルートで正式に決定したことを受け、村では東京2020競技大会の大会PRと村民の機運醸成を図ることはもとより、近年増加している本村を訪れるサイクリストが、より安心して快適にサイクリングを楽しんでいただくために、このたび「道志みちサイクルサポートステーション」を設置します。

「道志みちサイクルサポートステーション」は、自転車を移動手段とする来訪者と村民の地域交流の拠点となる施設で、駐輪、休憩場所、トイレ、自転車用メンテナンス工具及び空気ポンプなどの貸し出しサービスやさまざまな情報提供などの「おもてなし」を提供し、サイクリストの安全・快適なサイクリングをサポートするための施設です。観光振興や東京2020競技大会後のレガシーに繋げることを目的としています。サービスの内容に賛同していただける事業者・店舗等を募集します。

○募集の要件

- (1) サイクリストへの理解やおもてなしの気持ちを持っていること。
- (2) のぼり及びステッカー等により、サイクルステーションであることを明示すること。
- (3) サイクルラックの設置スペースを確保すること。
- (4) 休憩場所やトイレを無償で使用させること。
- (5) サイクリストの要望に応じて、自転車用工具及び空気ポンプを貸し出すこと。
- (6) サイクリストに対して気軽に話しかけることなどにより、受入れの雰囲気づくりに努めるとともに、村内の観光情報や走行等の安全に関する情報の提供に協力すること。
- (7) 自動販売機を含む給水設備が利用できること。
- (8) 利用状況やご意見等について年1回報告できること。

※サイクルサポートステーションの登録をしようとする事業者等は、道志みちサイクルサポートステーション登録申込書により、申し込むものとします。村は、登録申込書の内容を審査し、登録事業者として決定したときは、認定証を交付いたします。

○登録料 登録料など料金は無料です。

○貸与物品

サイクルサポートステーションに登録していただいた事業者には、必要な物品を貸与します。

- (1) サイクルステーションのステッカー及びのぼり（ポール、注水台を含む）。 (2) サイクルラック
- (3) 自転車用工具及び空気ポンプ (4) サイクリストステッカー及び観光広報物など

東京2020オリ・パラ県実行委員会が発足しました

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を県全体で高めるため、「東京オリンピック・パラリンピック山梨県実行委員会」が9月13日発足しました。実行委員会は、市町村長や関係機関、各種団体の代表者ら93名で構成され、長田村長が常任委員に選任されました。

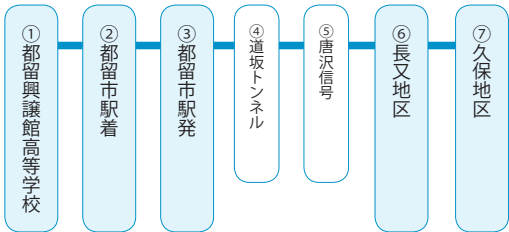
実行委員会には、「機運醸成・おもてなし」と「自転車競技ロードレース」の2つの専門部会が設けられ、今後大会に向けた準備が本格化していきます。

高校生の通学バスの運行が始まっています

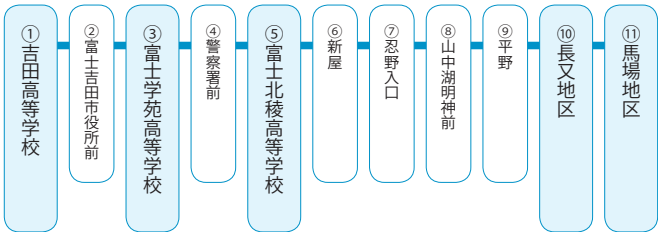
村では8月の夏休み明けから、村内在住の高校生が帰宅する平日の夕方から夜にかけ、通学先の高等学校と村を結ぶコミュニティバスの運行を試験的に開始しています。

一般社団法人DCB（道志コミュニティバス）と運行业務委託を締結し、10人乗りの車両2台が都留ルートに1便、富士吉田ルート2便それぞれ通行しています。9月現在、都留ルート9名、富士吉田ルート14名の生徒がコミュニティバスを利用しています。

平成29年度に中高生の保護者を対象にした「公共交通のあり方 村民アンケート」によると、61%の保護者が「通学に対して不便を感じている」と回答していました。また、路線バスでの帰宅が出来ず、「保護者の迎えによって通学している」という家庭が60%に至っており、「路線バスがないことで部活動ができない」、「保護者の勤務地の高等学校に進学せざるを得ない」、「生徒の進学先に合わせて保護者が転職を余儀なくされる」といった問題も生じていました。保護者の体調不良時の迎えや雪道の運転などについて心配する声も数多くあり、快適な通学の確保は本村にとって喫緊の課題でありました。



都留興譲館高校	都留市駅	道志村（久保）
19:40	19:48 着 20:00 発	20:55



吉田高校	富士学苑高校	富士北稜高校	道志村（馬場）
17:30	17:35	17:45	18:40
19:30	19:35	19:45	20:40

平成31年度コミュニティ助成事業の募集をします

一般財団法人自治総合センターは宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業を行っています。平成31年度に事業を開始する希望のある団体はお問い合わせ下さい。

対象団体：市町村、コミュニティ組織、自主防災組織など

申請に関する問い合わせ：ふるさと振興課 ☎ 52-2115 **締切：**10/24

コミュニティ助成事業の事業例

助成事業名	内 容	使用例
一般コミュニティ助成事業	住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることをめざすもの。	コミュニティ芸能の太鼓、衣装など
自主防災組織育成事業	一定地域の住民が当該地域を災害から守るために自主的に結成した組織が行う地域の防災活動に直接必要な整備。	防災備品などの整備など
青少年健全育成助成事業	青少年の健全育成に資するための、スポーツ活動や文化学習活動に関する事業及びコミュニティ活動に関する事業。	親子参加のレクリエーションなど

道志村総合防災訓練



【月夜野会場】



【やまゆり会場】



【久保会場】



【善之木会場】



【道志中会場】

道志村総合防災訓練が8月26日（日）に村内5ヶ所（月夜野公民館、みなもと体験館、道志小中学校体育館、水源の郷やまゆりセンター、善之木コミュニティセンター）で行われました。当日は東海沖地震を想定し、各会場とも避難所開設訓練及び避難誘導訓練、情報伝達訓練、避難所運営訓練、応急救護訓練など充実した訓練を行いました。

避難所運営訓練（HUG）では、大規模災害時に避難所の運営主体となる地域住民の方々と避難所の運営について、図上訓練形式により、体験して頂きました。

参加者の皆様からは、実際に避難所となる施設の図面を使用した訓練を行うことで、より実践的に避難所の運営を体験する機会になったと感想を頂きました。

また、消防団では避難誘導訓練を始め、応急救護訓練や消火栓を使用した消火訓練を参加者と共同で実施するなど充実した訓練内容となりました。

防災訓練は、災害時における防災体制を確認し、災害に対する備えを行う重要な機会となりますので、改めて地域全体で防災に関する意識を高め、各家庭において、食糧・防災グッズの備蓄を行うなど、日頃から災害に備えましょう。

自助・共助・公助の三助について

地震・台風などの自然災害の被害を最小限に抑えるには、自助・共助・公助それぞれが役割を果たしていくことが大切です。特に、市町村などの行政機関の行う「公助」のみの災害対策には限界があります。そのため、「自分の身は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えを持ち、災害に備えることが必要です。

自ら取り組む「自助」



- ・非常用持ち出し袋の準備
- ・自宅の耐震化、家具等の転倒防止対策
- ・家族同士で災害時の安否確認の伝達手段の確保
- ・避難経路の確認

自助とは、自分自身や家族の命と財産を守るために、自分で家族で防災に取り組むことです。自分（家族）の身は自分（家族）で守る、との考えのもと、日常的な災害に対する備えや、災害時の対応を行っていくことです。



地域で、皆で協力して取り組む「共助」

共助とは、災害時に、まず自分自身や家族の安全を確保した後に、近所や地域の方々と助け合うということです。また、災害時に円滑に助け合いができるように、日常から地域での助け合いについて備えることです。

- ・地域の防災訓練の参加
- ・消火・救出訓練の実施
- ・自主防災組織への活動参加
- ・避難行動要支援者（高齢者等）の見守り



行政、公的機関が取り組む「公助」

公助とは、村、消防、警察、自衛隊などによる公的な支援のことです。道志村では、地域防災計画に基づき、事前対策として、食料や飲料水などの生活物資の備蓄や資機材の整備、民間事業者や他の市町村との応援協定の締結などを実施しています。

- ・情報伝達手段の確保
防災行政無線、メールマガジン、SNS、ホームページ等の活用
- ・避難所施設の充実
防災備蓄品の整備、管理
- ・防災訓練（関係機関との連携強化）



備蓄品

●公的機関による救助（公助）の体制が整い、救援物資が届くまでの数日間で自活するためのもの。

●最低でも3日分、できれば5日分を用意しましょう。

水



- 飲料水は1人1日3リットルが目安
- 保存期間を確認し、こまめに取り替える
- 生活用水（炊事・洗濯・トイレなど）は、浴槽や洗濯機に貯水

食料品



- アルファ米 ●レトルト食品 ●缶詰
- 切り餅 ●カップ麺 ●梅干し ●菓子類 など、簡単な調理やそのまま食べられるもの

燃料・生活用品



- 卓上コンロ（ガスボンベは多めに用意）
- 固形燃料 ●洗面具 ●生理用品 ●紙製食器
- キッチン用ラップ ●割り箸 ●新聞紙
- ビニールシートなど

その他あると便利なもの



- 携帯なべ（コッヘル） ●携帯トイレ ●使い捨てカイロ ●雨具 ●ガムテープ ●さらし
- 筆記用具 ●地図 ●ドライシャンプー ●ボディークレンジング剤 ●予備の眼鏡 など

消火・救助用具



- 消火器 ●スコップ ●バール ●のこぎり
- 車のジャッキ など

10月10日（水）献血にご協力ください

住民健康課
☎ 52-2113

現在、少子高齢化社会の進展に伴い、献血可能人口が減少している一方、献血需要は増加が見込まれており、将来にわたる血液の安定的な確保が重要な課題になっています。下記日程により、道志村内において「集団献血」を実施しますので、一人でも多くの方にご協力をお願いいたします。



日時・会場 10月10日（水）

10時～12時（役場前駐車場） 13時30分～16時（道の駅どうし駐車場）

献血の所要時間 移動献血バスで実施します。受付～献血～カード更新まで30分～40分となります。献血時間は個人差がありますが、およそ10分～15分です。

献血の事前予約 献血にご協力いただける方は事前予約をお願いします。

予約先：住民健康課 住民福祉グループ ☎ 52-2113（担当 山口）

下記の事項に該当する方は、献血をご遠慮ください。

- ・体調の悪い方。 ・3日間以内に、出血を伴う歯科治療（抜歯、歯石除去等）を受けた方。
 - ・4週間以内に海外から帰国（入国）した方。 ・輸血（自己血を除く）や臓器移植を受けた方。
 - ・6ヵ月間に産、流産をした方。妊娠中、授乳中の方。 ・24時間以内にインフルエンザの予防接種を受けた方。
- ※ 献血カードをお持ちの方は、ご持参ください。

特定計量器（はかり）の定期検査

産業振興課
☎ 52-2114

計量法の規定により、はかりの定期検査（2年ごとに実施）を行いますので、所定の日時に検査を受けてください。

開催日 10月5日（金） **時間** 10時30分～12時

場所 道志村中央公民館1階

問い合わせ 産業振興課 ☎ 52-2114 山梨県計量検定所 ☎ 055-261-9130



平成30年度 行政相談週間の実施について

総務課
☎ 52-2111

10月15日（月）から21日（日）は、行政相談週間になります。行政相談は、公正・中立の立場から、役所の仕事に関する苦情、行政の制度・運営の改善についての意見・要望などを受け付け、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度・運営の改善に活かされています。

相談は無料で、難しい手続は不要です。秘密は固く守られますので、積極的にご相談ください。

行政相談所の開設日：10月17日（水） 10時～12時まで **場所**：みなもと体験館

図書コーナーにリクエストボックスを設置！

題名・著者を記入してリクエストボックスへ!!

「この著者の本を読みたい!」、「こんな本があれば実用的なのだけど…」などのご意見も受け付けます。予算には限りがありますが、できる限り対応するのでぜひ活用して下さい。

※貸出に適さないと判断した著書につきましては、リクエストにお応えできない場合もありますので、ご承知下さい。

第9回やまゆりセンターまつりについて

10月27日(土)～11月4日(日)まで水源の郷やまゆりセンターにおいて、第9回やまゆりセンターまつりを開催します。

村内で作品製作を行っている住民の作品を展示します。また、11月3日(土)には、村内で活動する団体による芸能発表を予定しています。

村民の皆様のご来場をお待ちしております。

※作品展示希望者、芸能発表希望団体は、10月12日(金)までに教育委員会までご連絡ください。

五感の集い(秋) ～音楽と星空の夕べ～

10月27日(土)やまゆりセンターふれあいホールにおいて、五感の集い(秋)を開催します。

五感の集いは、生涯教育の一環として、開催しています。今回も前年度同様、ピアニスト細川智美(ほそかわちはる)さん、ヴァイオリニスト川口堯史(かわぐちたかし)さん、自然写真家牛山俊男(うしやまとしお)さんをお迎えし、ピアノ、ヴァイオリンの旋律に神秘的な星空の映像をお楽しみください。今年のテーマは『太陽系』今夏15年ぶりに地球に接近した火星などの太陽系を注目した内容になっています。秋の夜に太陽系を冒険してみませんか?ぜひ、みなさんご近所お誘い合わせの上お越しください。

日 時 : 10月27日(土)
18時30分開場 19時～21時

場 所 : やまゆりセンターふれあいホール

※ご来場の方先着100名様限定で牛山俊男さん撮影の美しい星空コレクションフォトカードをプレゼントします。

※プログラムは当日のお楽しみ!!

くらしの情報 〈その他〉

●平成30年度後期技能検定受 検申請受付（建築大工・配管など）

国家試験 後期技能検定の受付が始まります。

・受検申請受付：10月1日（月）

（12日（金））

・受付時間：10時～15時（平日）

・試験日：学科・実技の試験日は各
検定科目によって異なります。

・問い合わせ：富士吉田職業訓練協会
☎0555-22-5214

●公証役場の利用について

10月1日～7日は公証週間です

あなたの大切な財産を守るため、
国の機関である公証役場を活用して
下さい。

公証役場は遺言書の作成、金銭・
土地・建物の賃貸・離婚に伴う慰
謝料・養育費・財産分与等に関す
る大切な契約を公正証書で作成し
ています。

公正証書作成のための相談（秘密
厳守）は無料です。気軽に相談く
ださい。なお、日本公証人連合会に

おいても同日程で電話相談を行って
おります。

・問い合わせ：大月市駒橋1-2-27
大月公証役場 ☎23-1452

●野外講座

「忍野村の富士参詣路を歩く」

富士山世界遺産センターでは、世
界遺産富士山の歴史・文化・自然に
ついて調査・研究を行い、その成果
を新たな富士山の魅力として紹介す
るため、世界遺産富士山講座を年間
8回行っています。

今回は忍野村で野外講座を開催し
ます。元山梨県埋蔵文化財センター
所長の新津健氏にご案内いただき、
富士信仰に関わる旧跡を巡ります。
詳細は当センターホームページで
公開します。

・開催日：10月20日（土）
・場所：忍野村
・参加料：無料
・問い合わせ：富士山世界遺産センター
調査研究スタッフ

☎0555-72-2314

●旧秋山村地区歴史植物散歩 講座

富士吉田市文化祭参加行事とし
て計画を立てました。郡内地域の
皆様方、ふるってご参加ください
ますようご案内申し上げます。毎
回応募者が多く即締切つています。
早めの申し込みよろしくお願い申
し上げます。

・日時：11月4日（日）集合8時

・集合場所：富士吉田市役所来庁者
駐車場（メガネのフジタ西側の駐車場）
（上野原の方は、雛鶴神社の駐車場付近
から合流）※雨天少雨決行

・行程：8時・駐車場・はじめの会
・雛鶴神社・無上野大念仏供養塔
・炭焼き小屋・櫻井小学校・瀧島
先生之碑・安寺沢郷蔵・櫻井山真
福寺（昼食）・金山跡・天神隧道
（解散15時半）の予定

※見学先は状況により変更有。
・持ち物：弁当、飲み物、運動靴、
帽子、雨具、筆記用具等
・費用：保険その他200円
・問い合わせ：天野安夫

☎080-1106-3502

定員20名 ※先着順

●無料調停相談会

調停委員が実際にお抱えの問題を
伺い、解決へ進めていくための方法
をご説明します。予約不要です。

・日時：10月14日（日）10時～15時半

・会場：びゅあ富士3階大会議室
（都留市中央3-9-3）

・相談担当者：民事・家事調停委員
・相談内容：交通事故による損害賠
償、土地建物などの貸し借り、貸
金・約束手形の取立て、山林・宅
地などの境界争い、借金問題、扶
養・離婚・相続問題、家庭内や親
族間のもめごとなど

・主催：山梨調停協会都留支部都留
地区調停協会

・問い合わせ：甲府地方・家庭裁判所
都留支部庶務課 ☎43-2185

●介護就職デイ

（福祉関係就職面接会）

○介護など福祉関係のお仕事を探し
ている方と企業（約10社）との面

くらしの情報 〈その他〉

接会を行います。

○参加無料・事前申し込み不要・入退場自由！

○福祉のお仕事に興味がある方も大歓迎です！

・日時：11月7日（水）14時～16時

・場所：富士吉田市民会館

（富士吉田市緑が丘2-5-23）

・内容：求職者と企業との個別面接、福祉関係の職業相談

・問い合わせ：ハローワーク富士吉田

☎0555-23-8609

●2019年度「児童福祉週間」標語の募集について

毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間（5月5日～5月11日）」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種行事を行っています。

2019年度の児童福祉週間に向けて、その象徴となる標語を募集します。詳細については、（公財）児童育成協会のホームページ <http://www.kodomonoshitcho.or.jp/jigyohyougo> を参照してください。

・募集期間：9月1日（土）～10月20日（土）

・募集内容：元気で頑張る子どもたちを応援する標語や未来に向けての子どもたちからのメッセージとなる標語。

・主催者：厚生労働省（社福）全国社会福祉協議会（公財）児童育成協会

・問い合わせ：（公財）児童育成協会 事業部標語募集係

☎03-3498-4592

●ぴゅあ富士からのお知らせ

地場産の食材を使って「男のお弁当作りレッスン」

おいしくて栄養バランスのよいお弁当のコツを学んで、お子さんやお孫さん、ご家族に作って、みんなで一緒に出かけはいかがですか。

・日時：10月13日（土）9時半～12時

・会場：ぴゅあ富士 調理実習室

・対象：男性

・材料費：700円

・定員：24名 ※要予約

・持ち物：エプロン・三角巾・手拭タオル

※お弁当箱をお持ちください！

働き方をデザインする

女性の自由でしなやかな働き方、暮らし方を考える

・日時：10月20日（土）10時～12時

・会場：ぴゅあ富士 団体連絡室

・対象：女性

・定員：20名

※参加無料・要申込み

ゆずりあいわかちあい支えあふ参画社会

ぴゅあ富士フェスティバル2018

ぴゅあ富士フェスティバルは、地域で活動する皆さまが、世代や性別を問わず参画し、日ごろのさまざまな活動成果の発表や活動展示などをおこなうことにより、お互いの学習と交流を深め、男女共同参画社会（誰もがいきいきと豊かに暮らせる社会）の実現に向けて、ともに考え、ともに行動していく機会として開催しております。

・日時：10月27日（土）28日（日）

・会場：ぴゅあ富士

・問い合わせ：...

ぴゅあ富士 ☎45-1666



クーちゃん

ハロウィンジャンボ5億円

（1等3億円・前後賞各1億円合わせて）

ハロウィンジャンボミニ5,000万円

（1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて）

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

10月1日月2種類同時発売!

公益財団法人山梨県市町村振興協会

発売期間 10/1日～10/23日
抽せん日 10/30日

各1枚 300円

食欲の、スポーツの、芸術の秋など、健全な言葉が似合う季節です。過ごし方や感じ方はそれぞれでしょうが、心身とも最も活動的な季節ということなのでしょう。

山梨県人はもっとも歩かないとの調査結果もあるようです。さらに健診や計測の結果、道志村では子どもからお年寄りまで肥満や悪玉コレステロール高めの傾向のようです。たしかに、たまに都会に行くと、駅やお店や何らかの施設の移動など、とにかく歩きますね。しかも都会人は速足です。ポッチャリでも病気になる人は確かにいます

が、糖尿病・動脈硬化・高血圧などなど、多くの病気が贅肉の量と密接に関連していることも事実です。既に治療中の人は肥満により悪化してしまいます。仮に良くないであろうと自覚していても、なかなか変えられないのが生活習慣です。食を楽しむのなら、同時に運動もがんばりましょう。有酸素運動といって、じっと汗ばむような運動（たとえば速歩き、太極拳、水泳などなど）を、1回30分、週に3回以上行うことが推奨されています。それぞれの秋、存分に堪能し、体も心も元気でありますように！

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	10月の予定
	10/1 ※1	10/2 午前：胃カメラ	10/3	10/4 午前中のみ診療	10/5	10/6 午前中のみ診療	
10/7	10/8 体育の日	10/9 午前：胃カメラ	10/10	10/11	10/12	10/13 休診	
10/14	10/15	10/16 午前：胃カメラ	10/17 ※1	10/18 午前中のみ診療	10/19	10/20 午前中のみ診療	
10/21	10/22	10/23 午前：胃カメラ	10/24 ※1	10/25	10/26	10/27 休診	
10/28	10/29	10/30 午前：胃カメラ	10/31	※1 1日 就学児検診 17日 乳幼児健診 24日 小中学校検診	15時～16時 14時～15時半 13時～15時		



歯科診療所より 診療日 月・火・水・金／木・土（午前のみ） 休診日 日・祝日 ☎ 52-2155



◆ 問い合せ…住民健康課
☎ 52-2113

◎日程
1日（月）、2日（火）、5日（金）、
10日（水）、11日（木）、15日（月）、
16日（火）、19日（金）、24日（水）、
25日（木）
※14時～15時まで実施しています。
場所…福祉センター

「歌の会」では、ピアノ演奏に合わせて、昭和のヒット曲や童謡など、心懐かしい歌を唄ったりしています。どなたでも参加できますので、ぜひおいで下さい。

10月の「歌の会」
みんなで楽しく歌いましょう！

◎秋の味覚、村内の子どもたちで
サツマイモ掘りをしましょう！
日時 10月18日（木）10時～12時
場所 みなもと体験館
内容 サツマイモ掘り
持物 軍手 長靴 汚れてもいい服装
＊乳児のお子さんも楽しめると
思います。親子で楽しく交流しませんか。

◎乳幼児期からよい食事で健康づくり！
離乳食作りを学びましょう！

日時 10月4日（木）10時～14時
場所 学童保育所「どうしっこ」
講師 栄養士 長田文江
内容 「離乳食・幼児の食事作り」
＊調理実習をし、離乳食の作り方や
幼児の適切な食事作りについて学び
ましょう。

◆ 問い合せ 住民健康課
☎ 52-2113

ママ友作りはもちろんですが、保
育所入所前から他の子どもと遊び、集
団生活の練習をしてみよう。

10月の
つぼみつくらぶ

道志村に移住者を呼ぼう！ ⑪

「村の人たちが大切にしている地区～お祭りから見える独自のコミュニティーについて」パート2

村に来て最初に見たのは、神地の神楽舞でした。地元の人たちが常日頃から大切にしている親しみのあるお宮での奉納舞は非日常と現実が溶け合ったような特別な空間だったのを記憶しています。

都会に住んでいる私たちは、核家族単位の小さなコミュニティーしか経験する機会がありません。親戚付き合いや地域行事からはどんどん足が遠のいていって、次第に各々が勝手に住む場所を決めたり、地域行事がなくなったりしてお互い干渉し合わない現代の生活スタイルを選択してきました。さらに結婚の必要性を迫らない現代社会ではそれはもっと個人的で小さくなっていく一方でしょう。それは人間を孤独に追い込みます。何のために生きるのか、コミュニティーを失ってしまった人たちはみんな模索しながら生きています。私もそんな一人だったかもしれません。道志村に来るまでは！

都会とは対照に「地区」が一つのチームで成立している村社会は「祭り」や「伝統」を生み出し、伝承し、未来に繋げるという非常に生産性の高い行為をずっと続けてきています。ここに私はいつも感動します。シンプルだけど、強い意義があります。地区を保つためには結婚や出産、家族の繁栄が求められるし、祭りでのそれぞれの役割分担によって自分

の存在意義が十分にあります。それと大きくて強いチームであれば弱い人たちのフォローもじゃんじゃないんでできるし、助け合いの精神も発達します。地区の結束があるから、誰かに頼ったりせず自分たちで何とかする力があり、今までやってきたのだと思います。

もちろん、色々なしがらみや面倒な事もあるでしょう。

時代に逆らえない問題や子ども世代との考えの不一致も今後多くなっていくかもしれません。

しかし、祭りの中での地元の子どもを見ていると小学生高学年や中学生の子たちは「かき氷屋」を任されていたり、小さい子どもたちは自治会館で親がいなくても自分より小さい子の面倒を見ながら遊んでいます。小さなうちから自分たちで何とかする環境があります。誰もが大人や親、Googleなどにも頼らず直接コミュニケーションで問題解決する力を養っています。そこが素晴らしいなあいつも感心しています。それこそが本来の教育なのではないでしょうか？



イノシシに掘り返された畑

真夏の夏が終わり、涼しい秋の季節になりました。

今年の夏は、台風の強風で、シシトウ、インゲンの枝が折れて収穫数が減ったり、商工会の下と斜面に植え付けたサツマイモ（約700本）が、全てイノシシにぐちゃぐちゃに荒らされてしまい、戸渡の杉の子の下に畑に植えたとうもろこし（約400本）も、ハクビシンに全滅にされてしまい、1本もまともな物が取れなかったです……。

去年は目立った獣害の被害がなかったのですが、今年も大丈夫かなと思っていました。が、甘かったです。天災と獣害にやられ、改めて農業は難しいなと痛感しました。

（鳥澤拓太）

／みるべし／
地域おこし協力隊

65



今年も食用菊を道の駅近くのビニールハウスで栽培しています。春先にアブラムシが大量発生してしまい、菊の栽培への影響を心配していましたが、その後は大量発生することなくきているので良かったです。

一方で、台風20号の豪雨のせいで、ハウスが水浸しになってしまい、菊が湿害を受けてダメになったものがあるので、少し残念です。

9月下旬頃から黄色い「阿房宮」という品種がとれ始めます。くせがなく食感がおいしいです。

（抱井昌史）

どうも七瀧です。

9月に入り気温も大分下がってきました。

夏の野菜の元気が無くなってきたので、畑を片付けて秋作の準備をしています。

秋雨前線の影響でなかなか作業が進みませんが頑張っていきたいと思います。

（七瀧佳至）



太鼓演奏では、それぞれの学年の曲の見所が力強く表現され、会場から大きな拍手が湧き上がりました。1年生は元気いっぱいの力強さ、2年生は息の合ったリズム、3年生は圧巻の迫力。どの学年も、郷土道志の伝統を受け継ぐ力強い太鼓の音色が、体育館いっぱいに響き渡りました。まさにテーマ「英姿颯爽」に迫る演奏でした。

1年 「富士三段返し」



2年 「流鏝馬太鼓」



3年 「七里雷太鼓」



全校合唱 「予感」

全校合唱「予感」は、本年度生徒会が最も力を入れている取り組みです。チーム道志中として全校の結束力を強化するため、年間を通して練習し日々ハーモニーを響かせました。若鮎祭では、美しい各パートの歌声が全体として調和し、全校生徒の絆の強さを十分表現していました。





テーマ 英姿颯爽（えいしさっそう）
シンボルマーク「英姿（堂々として立派な姿）、颯爽（清々しく爽やかや様子）をもとに、合唱・太鼓・体育競技の活動をイメージで制作しました。」

道志中第44回若鮎祭が、9月8日（土）に文化の部・9日（日）に体育の部で行われました。今年は、台風の影響を受け短い取り組み期間のうえ、体育の部当日も天候が悪く、保護者や地域の方々の協力によりグランド整備を行い無事に開催することができました。そのような状況でも、生徒たちは練習の成果を120%発揮し、すばらしい発表を披露し、感動と満足感に満ちた2日間になりました。生徒会を中心に、自分たちの力で創り上げ、想いを真摯に表現する大切さを学ぶことができた学園祭となりました。

【文化の部】

夏休み中から、読み合わせ・衣装や小道具準備・演技練習と限られた時間の中、一人二役・三役もの仕事をこなし、準備を進めてきました。生徒一人一人の個性に合わせたそれぞれの役を、豊かな表現力で熱演し素晴らしい学年劇となりました。演技の真剣さと各学年の絆の強さが、劇を通して伝わり、多くの拍手をいただきました。

1年生学年劇「私のキレイな商店街」



2年生学年劇「ハコブネ 1995」



3年生学年劇「夏休み」



【体育の部】

心配された天候も回復し、保護者や地域の皆さんの協力による校庭整備により、無事に体育の部を終えることができました。体育の部は、全校生徒が赤・青・黄の3ブロックに分かれ様々な競技を行いました。長縄・ムカデ競走・全員リレーなど、仲間と協力し合い精一杯活動することで、絆を強めることができました。



わが家のアイドル

山口 虎徹くん（西和出村）

平成29年7月19日生
父 竜一さん 母 ちあきさん



走り回るの大好き♡

慶 弔

お悔やみ申し上げます（死亡）

川原畑 佐藤 三代子さん 92歳

（8月届出）

道 志 村 ト ピ ッ ク ス

■ 村民ゲートボール大会開催

9月1日（土）旧道志小学校グラウンドにおいて、道志村体育協会主催の平成30年度村民ゲートボール大会が開催されました。当初7月29日（日）開催予定でしたが、雨のため延期となっていました。当日は、6チームが参加し、接戦に次ぐ接戦、大変盛り上がる大会となりました。

優勝：スカイブルー
準優勝：青春クラブ
第3位：よりどりみどり

■ 村の子育て支援に対して寄附金をいただきました

ありがとうございます。
大切に使います!!



団体名：ひゃくしょうの会
購入品：つみき（道志村保育所）



団体名：椿キャンプ場アユ友釣り大会参加者一同
購入品：椅子・おもちゃ（つぼみっこくらぶ）

■ スポーツ少年団サッカー 道志トルベジーノ Jr

山中湖きららで行われた第23回おんしりん杯少年サッカー大会に、道志トルベジーノ Jr が輝かしい成績をおさめました！



U-12の部 3位
U-10の部 4位

道志トルベジーノ Jr では団員を募集しています。みんなで楽しくサッカーをしましょう！